



令和元年 5月 24日
独立行政法人国立科学博物館

巨大！皇帝アナナスが開花しました

独立行政法人国立科学博物館筑波実験植物園（園長 樋口 正信）で、巨大なパイナップル科の植物、皇帝アナナス（*Alcantarea imperialis*）が5月15日に開花しました。属名の *Alcantarea* は帝国時代のブラジル皇族 Pedro de Alcântara に献名され、種小名の *imperialis* は帝国や皇帝を意味します。これにちなみ、日本でもミカドアナナスや皇帝アナナスと呼ばれます。開花までに10年を要するとも言われ、花を目にする機会はめったにありませんので、この機会にぜひご覧ください。

皇帝アナナス（*Alcantarea imperialis*）はブラジル固有の巨大な草本植物で、標高1200–2000mの岩崖というたいへん過酷な環境に生育します。花序は高さ5メートルにもなり、およそ500個もの花を咲かせることが知られます。花は大量の蜜を出し、現地ではコウモリやハチドリが訪れることが知られます。150cmの長さになる多数の葉の間に大量の水を貯めることができ、ときに40Lもの水を貯めることが知られており、過酷な地で暮らす他の生物にとっても重要な資源となります。

植物園の株は、5月16日の時点で花序の高さが2.8メートルを超え、さらに大きくなることが予想されます。開花後、花を咲かせたシュートは枯れ、基部から出る腋芽が新たに生育しますが、次に花を咲かせるまでに10年以上かかることが予想されます。

同様にブラジル原産のパイナップル科植物で、「パイナップル科の王」と呼ばれる葉の模様が大変美しいフリーセア・ヒエログリフィカ（*Vriesea hieroglyphica*）も近々開花見込です。こちらも含めてご覧ください。

開花時期： 令和元年6月中旬ごろまで

展示場所： 国立科学博物館 筑波実験植物園 熱帯資源植物温室
（茨城県つくば市天久保4-1-1）

〈本件についての問合せ先〉

独立行政法人 国立科学博物館

経営管理部研究推進・管理課 研究活動広報担当：稲葉 祐一

担当研究員：堤 千絵（多様性解析・保全グループ研究主幹）

〒305-0005 茨城県つくば市天久保 4-1-1

TEL:029-851-5159（代表） FAX:029-853-8998

E-mail: t-shuzai@kahaku.go.jp

国立科学博物館筑波実験植物園HP <http://www.tbg.kahaku.go.jp/>

概要

・ 皇帝アナナス （別名：ミカドアナナス）

学名：*Alcantarea imperialis*

科名：パイナップル科

分布：ブラジル

・ 筑波実験植物園での開花

見頃予測：令和元年6月中旬ごろまで

・ 栽培個体の履歴

2011年に植物園に導入。栽培は10年以上（推定）が経過して開花に至る。5/16の時点で花序の高さは2.8メートルで、さらに伸びることが予想されます。

